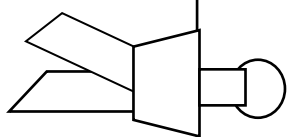




梅雨（つゆ）

6月のころに長く続く雨が〈梅雨〉です。ちょうど梅の実が熟するころなので「梅」の字がつくのです。梅雨に入ると「入梅」ともいいます。

〈五月雨〉は、五月と書きますが旧暦（昔使われていた暦）の5月は今の6月なので梅雨の雨の呼名です。他にも〈空梅雨〉〈送り梅雨〉など、雨の呼名を調べるとおもしろいですね。



読書ビンゴゲームはじまりました！

期限はありませんので、ルールを守って

じっくり挑戦してください！



★ 読書ビンゴゲームのルール説明 ★

- ① 好きなカードを選ぶ。
- ② カードに自分の名前を書く。
- ② マスの中にかかれた本をさがす。
- ③ 見つけた本を最後まで読む。
- ④ カウンターに、「この本を読みました」と伝える。
- ⑤ クリアしたマスにスタンプを押しもらう。
- ⑥ カードのたて・よこ・ななめ、どれか1列にスタンプがおされたら「ビンゴ！」と言って、賞品をもらう。



☐ たて・よこ・ななめ、すべてビンゴになるまでは、同じカードを使ってください。

何度でも挑戦できますが、カードの種類がたくさんありますので、再チャレンジは違うカードを選んでください。本を見つけるだけでなく、いろんな種類の本を読むことが目標です！

いま、つばさ小図書館では、『本好きの下剋上』という物語が大人気です。
 他にも図書館が物語の舞台になっている作品がたくさんあるので
 ご紹介します！



| | | |
|---|--|--|
|  | <p>『本好きの下剋上』 香月美夜・作 (T0 ブックス)</p> | <p>本が大好きな女子大生が、病気がちな5歳の女の子、マインとして生まれ変わった世界には、書物がほとんど存在しませんでした。マインは転生前の記憶だけをたよりに、本づくりに挑みます。本の歴史や技術を知ることができる本好きのためのファンタジーです。</p> |
|  | <p>『虹いろ図書館のへびおとこ』 櫻井とりお・作 (河出書房新社)</p> | <p>いじめがきっかけで学校に行けなくなった小6のほのかでしたが、辿り着いたおんぼろ図書館で、みどり色の司書、謎の少年、そしてたくさんの本に出会い、世界が少しずつ動き出します。『ねずみくんのチョッキ』『スイミー』『指輪物語』など、誰もが知っている本がたくさん登場します。</p> |
|  | <p>『貸出禁止の本をすくえ！』 アラン・グラッツ/作 ないとうふみこ/訳 (ほるぷ出版)</p> | <p>小学4年生の内気なエイミー・アンは、図書室で本を読んで過ごすのが唯一の楽しみです。でもある日、お気に入りの本が“子どもにふさわしくない本”として棚から消えていました。エイミー・アンは愛する本を救おうと、友だちの助けを借りながら行動を起こしますが、それが大きな問題になってしまいます。</p> |
|  | <p>『しずかな魔女』 市川朔久子/作 (岩崎書店)</p> | <p>「『しずかな子は、魔女に向いている』という文章の出てる本を探しています。」現在不登校の草子は、毎日を過ごす図書館で、はじめてレファレンスを希望します。やがて司書の深津さんから手渡されたものは、白い紙の束。それは、ふたりの少女の夏物語でした。</p> |
|  | <p>『坂の上の図書館』 池田ゆみる/作 羽尻利門/絵 (さ・え・ら書房)</p> | <p>小学5年生の春菜が暮らすことになったのは、住む家のない母親と子どもが入る、自立支援センター「あけぼの住宅」。となりには市民図書館があります。友人や司書、本との出会いが、春菜を少しずつ変えていきます。</p> |
|  | <p>『はじまりは一冊の本！』 濱野京子/作 森川泉/絵 (あかね書房)</p> | <p>強引な父と趣味が合わない柊斗。かといって、夢中になれるものもない。そんなある日、「世界で一冊だけの本」に出会い、柊斗は本や印刷の歴史を調べます。そうするうちに父との関係に変化が起き、友だちも増えていきます。</p> |
|  | <p>『図書館からの冒険』 岡田淳/作 (偕成社)</p> | <p>柴野崎小学校の図書館から涉がワープしたのは、地震と嵐で荒れはてた、シバノザキ島という不思議な島でした。涉はそこで父親をさがす少女サキと出会い、ふたりは島を救おうと動きだします。</p> |
|  | <p>『森のとしよかんのひみつ』 小手鞠るい/作 土田義晴/絵 (金の星社)</p> | <p>ひつじ郵便局長、スマレ先生、こぶたくん、かめばあさんなど、森の仲間たちが森の図書館に大集合。みんなとっても忙しそうです。いったい森の図書館で何が起きているのでしょうか!?</p> |